

交流人口 関係人口の拡大について

全国的に同じくして人口減少問題に取り組む中、交流人口・関係人口の拡大について当県で真っ先に取り組むべき点は「いわての魅力の再発掘・再認識について」今だからこそ丁寧に行うべきと考えます。

観光業の視点より、交流人口・関係人口の増加については、両者とも段階的に重要な役割を持つものと考えており、各県で同時に同じような課題に取り組む中、明確な差別化が必要と思ひ、自身の携わる観光業の観点から話題提供とさせていただきます。

「いわて」について確実に各人口を増やすためには、各段階での様々な分野での拡充が必要と考えております。①初めましていわて ②もっともっといわて ③ずっといわて(大まかに交流人口・関係人口・移住定住人口3段階に分けて)

① 初めましていわて♪

観光業＝感動産業という考え方から、お客様の最初の窓口となる観光業には、いわての未来を広げるチャンスやヒントが無数にあると日々感じております。

まず、初いわてのお客様等、また来たい！いわてのお客様を増やすこと。

観光業が次のいわてステップへと繋げる役割も今後において重要だと思ひます。岩手県の一部(観光・学業・農業・仕事・産業 etc…)に興味を持って実際に動いている方へ向けて観光業が共通でできることは「岩手県のおもてなし」として興味のある個別分野にピンポイントで、さらなる魅力を追加しお伝えすること。その分野の他にも、そこに至る歴史的背景や文化の紹介、暮らし方など丁寧に魅力をプラスすることで、再訪や「もっと知りたい・見たい・体験したい」と次回につなげることもできます。そのためには、観光業の「おもてなし力」の底上げも同時に重要なポイントです。人口減少、人手不足の背景から AI やロボット等の上手な活用、外国人人材の雇用も視野に入れながら「いわて」の魅力をより一層深めることも観光業の課題だと考えます。

様々な取り組みが考えられます。例えば

- クリエイティブ力で魅せる パンフレット・動画・SNS・限定、オープン交流
- 語って魅せる・体験(農業・産業・工芸)で魅せる・物語で魅せる・学習で魅せる
- 多様なきっかけづくり…ふるさと納税や SNS 等、ネットでの交流人口の拡大
- 分野ごとの「もっといわて化」…他地域との差別化を明確に
- 翌日に訪れるエリアのおすすめを伝えられるように周辺観光の再認識
- 次回「おかえりいわて」になるように共通パスポート等、見える化&記念化
- 県単位か出来る範囲のエリア共通の接客力・いわて知識の向上
- 宿泊業・サービス業・タクシー・バス他業種との横の連携構築

② もっともっと いわて

「いわて」について様々な点での交流人口が育ち始めた後、続いては関係人口の増加へとさらに深い関係性を構築するチャンスへと繋がっていきます。

例) 観光でお祭りを観て参加したくなったので再来

例) 岩手県のいい素材を活用し副業を始めた

様々な関わり方の提案がさらにあるとよいかと思います。

複数回以上来県し、いわてに関りをもつ方が対象になるため、さらにコアな魅力を県民側も再認識する必要があります。小さな町、エリア単位での伝統文化や伝説、地域ならではの食文化などにも目を向け「あたりまえで気づかない魅力」もきちんとした魅力として意識することが必要だと感じます。例えば、季節の花の香りや磯の香り波の音、虫の音。他地域からみれば宝物に感じられる当たり前の「日常」を自分たちで再発掘し、または県外の人から教えてもらうことで改めて気づくことができ、共通認識の魅力を増やしていくことも、地元の価値を高めることにつながっていくと思います。いわての「中の人」と「外の人」、互いの交流の場を持ち、良いものを共感し育てていく動きが生れると、いわてはさらに深く魅力的に今後も成長していけると思います。

いわてとつながる関係人口ポータルサイト「いわてのわ」の更なる活用

- 広い県土をエリア別で暮らし方や生業等もっと深いストーリーを身近に伝える
- 数回目いわて様へ「なんとなく」から「この何が好き」が目視で分かる何か
- 小さいコアなエリア独自の魅力の再発見・再発掘を
- 外からの視点(気づき)を足してはどうか(エリア別・年齢別・種類別・国別等…)
- このまちの「ここ」がいい！を具体的に掘り下げて共有しよう
- いわてファンミーティング?の開催など

③ ずっといわて

「移住定住」人口の定着化を本気で具体的に考える。

いわての魅力を知って、興味を持って、行動して、リピーターになったら、次は未来について一緒に考えていけるのではないのでしょうか。具体的に魅力を複数見つけたら「こうしたら」「これはどうか」様々な課題の解決に自分のチカラが活かされたら、やりがいや希望をつくり出せたら、起業や、移住も挑戦できたり、関係人口の交流の深さで互いに応援できる関係性が生み出せるのではないかと。

- 実際いわてで暮らすまでの具体例の紹介や相談窓口
- 先輩いわてから学ぶ AtoZ プラス面もマイナス面も
- 暮らしを立体的に考える(結婚から子育て介護まで)
- 就業や就農、起業を応援し自力を育ててのびるいわてに

The New York Times
52 Places to Go in 2023



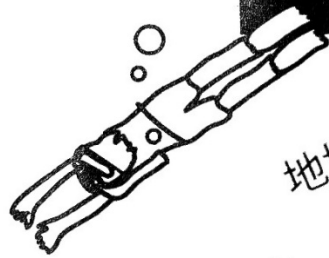
交流人口

学校
単身赴任



関係人口
四季の景色

クラフト
ならでは



地域性 偉人・歴史
食文化 伝統工芸 郷土芸能
未来 なりわい・農・漁・水産・林・製造
暮らし 子育て・家族 出産 介護

future

移住・定住へ

more

